

最終更新日 H25.3.1
改修技術 No. 11111503

性能分野	耐久性・耐用性
大分類	劣化部分の補修、外力の緩和
中分類	浮き、欠損及び剥落部の補修
技術の名称	タイル外壁等の補修（外壁複合改修構工法（ピンネット工法））
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイル、モルタル塗り外壁において、既存仕上げ層の外側に、これと一体化した剥落防止層（繊維ネットと、ポリマーセメントモルタルや透明樹脂等により形成）を施工する。さらに既存仕上げ層、または、同層と上記の剥落防止層をアンカーピンで固定することで、施工範囲全体の剥落を防止することができる。また、剥落防止層は塗装仕上げの下地になるため、工事期間・工程の短縮が可能である。</li> <li>・仕上げ材厚さ（モルタル塗り層等）、外力の条件等により、施工する工法および審査証明等の認定基準が異なる。</li> <li>・アンカーピンの使用方法については、既存仕上げ層と剥落防止層を合わせて躯体に固定する方法と、剥離している仕上げ層を固定し、その外側に剥落防止層を形成する方法、の2種類がある。</li> </ul>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <pre> graph TD     A[補修範囲の確認] --&gt; B[下地調整]     B --&gt; C[繊維ネットの施工]     C --&gt; D[モルタル・樹脂の施工]     D --&gt; E[アンカーピン挿入孔の穿孔]     E --&gt; F[孔内の清掃]     F --&gt; G[アンカーピンの挿入]     G --&gt; H[モルタル・樹脂の施工]     H --&gt; I[塗装仕上げ]                     </pre> </div> <div style="width: 50%;"> <p>図 1 既存仕上げ層と剥落防止層を合わせて躯体に固定する方法の例（タイル外壁の場合）</p> <p>図 2 既存仕上げ層と剥落防止層を合わせて躯体に固定する方法の例（モルタル外壁の場合）</p> <p>図 3 既存仕上げ層を固定し、その外側に剥落防止層を形成する方法の例（モルタル外壁の場合）</p> </div> </div> <p>既存仕上げ層と剥落防止層を合わせて躯体に固定する方法における施工手順の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修後の性能 安全性の向上（タイル、モルタル等の剥落防止）、耐久性の向上、美観の向上</li> </ul>

共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	<input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1)	使われる可能性が相当ある
		S55年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2)	使われる可能性が相当ある
		S56～H2年供給(総プロB)	使われる可能性が相当ある
		H3～12年供給(総プロC)	使われる可能性が相当ある
		H13年以降供給(総プロD)	使われる可能性が相当ある
(補足) —			
常にセットで利用される技術	<当技術を適用する前に実施する調査・診断技術> タイル等の浮きの調査 (No. 21111106)		
技術が適用される建物の部位	<input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 ( <input checked="" type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部 ) <input type="checkbox"/> 専有部分 ( <input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専用部 ) { 設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 ( ) <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令 ( ) }		
団地で適用した場合のメリット	<input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること (仮設以外) ( ) <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること (仮設以外) ( ) <input type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い ( ) <input type="checkbox"/> 特定の設備があること ( )		
足場の設置が必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 ( )		
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 ( )	
	一時的な影響が発生	<input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input checked="" type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 粉塵 <input checked="" type="checkbox"/> 臭気 <input type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 ( )	
	工事後に続く影響が発生	<input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 ( ) <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響 ( )	
当該技術が利用される工事	<input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事 ( <input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上 ) <input type="checkbox"/> 耐震改修工事 ( <input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上 )		
技術的境界	—		
参考資料	技術情報	・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（財）建築保全センター ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針 平成22年版」（財）建築保全センター	
	価格情報	・「マンション Re」（一財）経済調査会	